職業実践専門課程等の基本情報について

| 学校名 大原簿記法律観光 | | | 可年月日 | | 長名 | | 9200031 | | | | |
|--|---|---|--|--|---|---|---|---|-----------------------------|---|------------------------|
| 金沢校 | | | ₹12月20日 | | - 秀安 | | 石川県金沢市広岡1- 076-221-5757 | | | | |
| 設置者名 | | | 可年月日 | | 長者名 | | 1010065 | 所在地 | | | |
| 学校法人大原 | 学園 | 昭和54 | 年4月1日 | 中本 | 、毎彦 | | 東京都千代田区西神 03-3291-0151 | ≢⊞1−1−3 | | | |
| 分野 | | 忍定課程名 | | 認定学科 | | | 門士認定年度 | 高度専門士認定 | 生度 | | 專門課程認定年度 97/0045)左京 |
| 文化·教養 | 又化 | ・教養専門課程 | Ī / | 公務員学科(2 | (牛制 <i>)</i> | 十 平成 | 25(2013)年度 | | | 半0.2 | 27(2015)年度 |
| 学科の目的 | 本学科は、目的とする | | 対に関係する専 | 門教育を施し、 | 一般的に公務 | 答員として求る | められる、法律知識、防 | 5災知識、パソコンスキ | ルなどを修 | る得し、自立した | た社会人の育成を |
| 学科の特徴(取得 可能な資格、中退 率 等) | | | | | | | カ検定試験の取得が同 務員)の合格を目指す | | らの知識を | ·活かし各種公 | \$務員試験(国家一 |
| 修業年限 | 昼夜 | 全課程の修了 | に必要な総授第 単位数 | 業時数又は総 | 講 | 義 | 演習 | 実習 | 実 | 験 | 実技 |
| 2 | | ※単位時間、単位 かに記入 | いずれ 1,7 | 100 単位時間 単位 | 1,790 |) 単位時間 単位 | 3,030 単位時間 単位 | 180 単位時間 | 0 | 単位時間単位 | 0 単位時間単位 |
| 生徒総定員 | 生徒実 | €員(A) | 留学生数(生徒実 | 経員の内数)(B) | 留学生割 | 合(B/A) | 中退率 | | | • | |
| 60 人 | 41 | | | 0 人 | 0 |) % | 0 % | | | | |
| | ■卒業者 | 数 (C) 望者数 (D) | : | 22 22 | | | | | | | |
| | ■就職者 | 数 (E) | : | 22 | | 人 | | | | | |
| | ■就職率 | • | | 10 100 | | 人 % | | | | | |
| | ■就職者 | に占める地元就 | 職者の割合(F | F/E) 45 | | % | | | | | |
| | ■卒業者Ⅰ | こ占める就職者 | の割合 (E/C) | | | | | | | | |
| | ■進学者 | 数 | | 100 0 | | 人 | | | | | |
| 就職等の状況 | ■その他 | | | | | | | | | | |
| | (令和 | c 午 由 | E卒業者に関する | く 今 和 7 年 5 日 : | 1 日時占の棲む | (U) | | | | | |
| | | □ +□ □ 職 先、業界等 | 千米伯に関りる | 7节仰1年3月 | 1 日时点(万用羊 | FIX) | | | | | |
| | | 卒業生) | | | | | | | | | |
| | (市和0年度 | T / X - Z / | | | | | | | | | |
| | | 公務員、各地方 | 与自治体 | | | | | | | | |
| | | | 方自治体 | | | | | | | | |
| | 各種国家 | 公務員、各地方 | | | | | for | | | | |
| 第三者による | 各種国家 ■民間の | | ら第三者評価 | : | | | 無 | | | | |
| 第三者による 学校評価 | 各種国家 ■民間の ※有の場合 | 公務員、各地ス 計価機関等か | ら第三者評価 | : | 受審年月: | | Ī | 評価結果を掲載した | | | |
| 学校評価 | 各種国家 ■民間の ※有の場合 | 公務員、各地ス 評価機関等か、例えば以下につ | ら第三者評価 | : | 受審年月: | | Ī | 評価結果を掲載した ホームページURL | | | |
| 学校評価 当該学科の ホームページ | ●民間の ※有の場合 | 公務員、各地ス 評価機関等か、例えば以下につ | ら第三者評価 いて任意記載 | | | | Ī | | | | |
| 学校評価 当該学科の | ● 民間の ※有の場合 https://w | 公務員、各地ス 評価機関等か、例えば以下につ 評価団体: ww.o-hara.ac.j | ら第三者評価 いて任意記載 p/senmon/cou | | | | Ī | | | | |
| 学校評価 当該学科の ホームページ | ● 民間の ※有の場合 https://w | 公務員、各地ス 評価機関等か、例えば以下につ 評価団体: ww.o-hara.ac.ji | ら第三者評価 いて任意記載 p/senmon/cou | | | | Ī | | 1 700 |)単位時間 | |
| 学校評価 当該学科の ホームページ | ● 民間の ※有の場合 https://w | 公務員、各地ス 評価機関等か、例えば以下につい 評価団体: ww.o-hara.ac.ji による算算 総授業時数 | ら第三者評価 いて任意記載 p/senmon/cou | urse/creator/ | | | Ī | | |) 単位時間 | |
| 学校評価 当該学科の ホームページ | ● 民間の ※有の場合 https://w | 公務員、各地方 評価機関等か 、例えば以下につ 評価団体: ww.o-hara.ac.ji による算算 総授業時数 | ら第三者評価 いて任意記載 p/senmon/cou | urse/creator/ した実験・実習 | 習・実技の授業 | | Ī | | 0 | | |
| 学校評価 当該学科の ホームページ | ● 民間の ※有の場合 https://w | 公務員、各地方 評価機関等か、例えば以下についまでは 評価団体: ww.o-hara.ac.ji お授業時数 うたった。 | ら第三者評価 いて任意記載 o/senmon/cou 定) | urse/creator/ した実験・実習 | 習・実技の授業 | | Ī | | 30 | 単位時間 | |
| 学校評価 当該学科の ホームページ | ● 民間の ※有の場合 https://w | 公務員、各地方 評価機関等か、例えば以下についまでは 評価団体: ww.o-hara.ac.ji お授業時数 うたった。 | ら第三者評価 いて任意記載 o/senmon/cou 定) を企業等と連携 ら企業等と連携 | urse/creator/ した実験・実習 | 習・実技の授業 | 業時数 | | | 0 30 0 | 単位時間 | |
| 学校評価 当該学科の ホームページ | ● 民間の ※有の場合 https://w | 公務員、各地方 評価機関等か、例えば以下についまでは 評価団体: ww.o-hara.ac.ji お授業時数 うたった。 | ら第三者評価 いて任意記載 o/senmon/cou 定) ら企業等と連携 ら企業等と連携 ら必修授業時数 うち企刻 | urse/creator/ した実験・実習 した演習の授業 | 習・実技の授業 等時数 ご必修の実験・ | 業時数 ・実習・実技 | | | 0 30 0 | 単位時間 単位時間 単位時間 | |
| 学校評価 当該学科の ホームページ URL | ● 民間の ※有の場合 https://w | 公務員、各地方 評価機関等に 「評価団体: ww.o-hara.ac.ji による算算 総授業時数 うち うち | ら第三者評価 いて任意記載 o/senmon/cou 定) ら企業等と連携 ら企業等と連携 ら必修授業時数 うち企刻 | urse/creator/ した実験・実習 した演習の授業 業等と連携した 業等と連携した | 習・実技の授業 き時数 こ必修の実験・ こ必修の演習の | 業時数 ・実習・実技 D授業時数 | | | 0 30 0 0 | 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 | |
| 学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況 | ● 民間の ※有の場合 https://w | 公務員、各地方 評価機関等に 「評価団体: ww.o-hara.ac.ji による算算 総授業時数 うち うち | ら第三者評価 いて任意記載 o/senmon/cou 定) ら企業等と連携 ら企業等と連携 ら必修授業時数 うち企業 うち企業 | urse/creator/ した実験・実習 した演習の授業 業等と連携した 業等と連携した | 習・実技の授業 き時数 こ必修の実験・ こ必修の演習の | 業時数 ・実習・実技 D授業時数 | | | 0 30 0 0 | 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 | |
| 学校評価 当該学科の ホームページ URL | 各種国家 ■民間の ※有の場合 https://w (A:単位 | 公務員、各地方 評価機関下についます。 評価団体: ww.o-hara.ac.ji による算算を表する。 による第一ではよる第一ではよる第一ではよる第一ではよる第一ではよる第一ではよる第一ではよる第一ではよる第一ではよる第一ではよる第一ではよる第一ではよる第一ではよる第一ではよる第一ではようによる。 | ら第三者評価 いて任意記載 p/senmon/cou 定) を企業等と連携 ら企業等と連携 うち企業 うち企業 うち企業 | urse/creator/ した実験・実習 した演習の授業 業等と連携した 業等と連携した | 習・実技の授業 き時数 こ必修の実験・ こ必修の演習の | 業時数 ・実習・実技 D授業時数 | | | 0 30 0 0 | 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 | |
| 学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等の実施状れ と連携に状況 くる、Bいずれか | 各種国家 ■民間の ※有の場合 https://w (A:単位 | 公務員、各地方 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) | ら第三者評価 のいて任意記載 の/senmon/cou 定) ら企業等と連携 ら必修授業時数 うち企業等と連 | urse/creator/ した実験・実習 した演習の授業 業等と連携した 業等と連携した | 習・実技の授業 等時数 - 必修の実験・ - 必修の演習の - ンシップの持 | 業時数 ・実習・実技 D授業時数 受業時数) | | | 0 30 0 0 | 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 | |
| 学校評価 当該学科の ホームページ URL と連携しま と連携し と 実習等の と で と で と で に し た し た し た し た し た り と り し た り と り し り し り し り り り り り り り り り り り り | 各種国家 ■民間の ※有の場合 https://w (A:単位 | 公務員、各地方 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) | ら第三者評価 のいて任意記載 の/senmon/cou 定) ら企業等と連携 ら必修授 うち企業 うち企業等と連携 | urse/creator/ した実験・実習 した演習の授業 業等と連携した 携したインター | 習・実技の授業 等時数 二必修の実験・ 二必修の演習の 一ンシップの持 | 業時数 ・実習・実技 D授業時数 受業時数) | | | 0 30 0 0 | 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 | |
| 学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等の実施状 した況 (A、Bいずれか | 各種国家 ■民間の ※有の場合 https://w (A:単位 | 公務員、各地方 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) | ら第三者評価のいて任意記載の/senmon/country を企業等と連携を必修ります。 ら企業等と連携を必修ります。 ら企業等と連携を必要をできる。 らなのでできる。 このできるのでできる。 このできるのできる。 このできるのできるのできる。 このできるのできるのできる。 このできるのできるのできる。 このできるのできるのできる。 このできるのできるのできる。 このできるのできるのできる。 このできるのできるのできるのできる。 このできるのできるのできるのできる。 このできるのできるのできるのできるのできる。 このできるのできるのできるのできる。 このできるのできるのできるのできる。 このできるのできるのできるのできるのできる。 このできるのできるのできるのできるのできる。 このできるのできるのできるのできるのできるのできる。 このできるのできるのできるのできるのできるのできるのできるのできるのできるのできる | urse/creator/ した実験・実習 した演習の授業 業等と連携した 携したインター | 習・実技の授業 等時数 二必修の実験・ 二必修の演習の 一ンシップの持 | 業時数 ・実習・実技 D授業時数 受業時数) | | | 0 30 0 0 | 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 | |
| 学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等の実施状況 く と連携した況 の と で と で と で に し た し た し た し た り し た り し た り し り し り し | 各種国家 ■民間の ※有の場合 https://w (A:単位 | 公務員、各地方 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) | ら第三者記載 の/senmon/cou 定) を企業等と連携 ら企業等と連携 らな企業等と連携 らな企業等と連携 らな企業等と連携 らな企業等と連携 | urse/creator/ した実験・実習 した演習の授業 業等と連携した 関したインター した実験・実習 した演習の単位 | 習・実技の授業 き時数 こ必修の実験・ こ必修の演習の 一ンシップの打 対数 | 業時数 ・実習・実技 D授業時数 受業時数) 立数 | の授業時数 | | 0 30 0 0 | 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 | |
| 学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等の実施状し と連携し状況 (A、Bいずれか | 各種国家 ■民間の ※有の場合 https://w (A:単位 | 公務員、各地方 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) | ら第三者記載 の/senmon/cou 定) | urse/creator/ した実験・実習 した演習の授業 業等と連携した 携したインター した実験・実習 した演習の単位 | 留・実技の授業 時数 二必修の実験・ 二・シシップの担 日・実技の単位 は数 | 業時数 ・実習・実技 D授業時数) 立数 ・実習・実技 | の授業時数 | | 0 30 0 0 | 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 | |
| 学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等の実施状況 く と連携した況 の と で と で と で に し た し た し た し た り し た り し た り し り し り し | 各種国家 ■民間の ※有の場合 https://w (A:単位 | 公務員、各地方 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) | ら第三者記載 の/senmon/cou 定) | urse/creator/ した実験・実習 した演習の授業 業等と連携した した実験の単位 した実験の単位 業等と連携した | ・実技の授業 ・ 実技の実験・ ・ 必修の演習の ・ となる。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ | 業時数 ・実習・実技 D授業時数) 立数 ・実習・実技 D単位数 | の授業時数 | | 0 30 0 0 | 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 | |
| 学校評価 当該学科の ホームページ URL と連携した との実施がれか | 各種国家 ■民間の ※有の場合 https://w (A:単位 | 公務員、各地方 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) | ら第三者記載 の/senmon/cou 定) | urse/creator/ した実験・実習 した演習の授業 業等と連携した した実験の単位 した実験の単位 業等と連携した | ・実技の授業 ・ 実技の実験・ ・ 必修の演習の ・ となる。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ | 業時数 ・実習・実技 D授業時数) 立数 ・実習・実技 D単位数 | の授業時数 | | 0 30 0 0 | 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 | |
| 学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等の実施状 した況 (A、Bいずれか | 各種国家 ■民間の ※有の場合 https://w (A:単位 | 公務員、各地方 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) | ら第三者記載 の/senmon/cou 定) | urse/creator/ した実験・実習 した演習の授業 業等と連携した した実験の単位 した実験の単位 業等と連携した | ・実技の授業 ・ 実技の実験・ ・ 必修の演習の ・ となる。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ | 業時数 ・実習・実技 D授業時数) 立数 ・実習・実技 D単位数 | の授業時数 | | 0 30 0 0 | 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 | |
| 学校評価 当該学科の ホームページ URL と連携しま と連携し と と と と と と と と は し た し た し た し た し た り と り と り と り と り と り と り と り と り と り | 各種国家 ■ R III の A : 単位 (A : 単位 (B : 単位 | 公務員、各地方 (本) (ま) (ま) (ま) (ま) (ま) (ま) (ま) (ま) (ま) (ま | らいて 三三章 三三章 三三章 三三章 三三章 三三章 三三章 三三 | urse/creator/ した実等の | 留・実技の授禁 等時数の で 必修のの で 当・ を 数 | 業時数 ・実習・実数 ・実数 ・実数 ・実数 ・対数 ・実質を表 ・変数 ・実数・変数 ・変数・変数・変数・変数・変数・変数・変数・変数・変数・変数・変数・変数・変数・ | の授業時数 | ホームページURL | 0 30 0 0 0 | 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 | |
| 学校評価 当該学科の ホームページ URL と連携しま と連携し と と と と と と と と は し た し た し た し た し た り と り と り と り と り と り と り と り と り と り | 各種国家 ■ R III の A : 単位 (A : 単位 (B : 単位 | 公 | らいて 三三章 三三章 三三章 三三章 三三章 三三章 三三章 三三 | urse/creator/ した実際である。 ままりますが、 にたたった。 はなりでは、 はなりでは、 はなりでは、 はなりでは、 はなりでは、 はなりでは、 はなりでは、 はなりでは、 はなりでは、 はなりが、 はないいいいが、 はないいいいいがはないが、 はないいいがはないがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいが | 留・実技の授禁 等時数の で 必修のの で 当・ を 数 | 業時数 ・実授業時数・実数 ・関業を動物 ・実数では数では数では、事体を関する。 | の授業時数 | ホームページURL 第1号) | 0 30 0 0 0 0 0 0 0 1 1 | 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位位 単位位 単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単 | |
| 学校評価 当該学ページ URL 業等等、と 連実施ず し状れ | 各種国家 ■ X R III の A : 単位 (A : 単位 (B : 単位 | 公 | らいて 京任 京任 京任 京任 京任 京任 京子 京子 での での での での での での での での での での | urse/creator/ した実際である。 ままりますが、 にたたった。 はなりでは、 はなりでは、 はなりでは、 はなりでは、 はなりでは、 はなりでは、 はなりでは、 はなりでは、 はなりでは、 はなりが、 はないいいいが、 はないいいいいがはないが、 はないいいがはないがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいが | 留・実技の授禁 等時数の で 必修のの で 当・ を 数 | 業時数・実業時数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数・支数<td>での授業時数での単位数を表表を表表を表現である。</td><td>ボームページURL 第1号)</td><td>0 30 0 0 0 0</td><td>単位時間 単位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位</td><td></td> | での授業時数での単位数を表表を表表を表現である。 | ボームページURL 第1号) | 0 30 0 0 0 0 | 単位時間 単位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 | |
| 学校評価 当該公司 当該公司 以RL 学ペー 以RL 連実い入 連実い入 しまでいる は状れ ででである。 は、でででである。 は、ででである。 は、でのにでいる。 は、でのにでいる。 は、でのにでいる。 は、でのにでいる。 は、でのにでいる。 は、でのにでいる。 は、でのにでいる。 は、でのにでいる。 は、でのにでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で | 各種国家 ■ X R III の A : 単位 (A : 単位 (B : 単位 | 公務 評、評 www.oー に # 会数 有のの以 等 で まる 数 う う き き き き き き き き き き き き き き き き き き | らいて 京年 京年 京年 京年 京年 京年 でのでである。 でのでは、 でのででは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのででのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでのでは、 でのでのでは、 でのでは、 でのでのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのででのででのでは、 でのででは、 でのでは、 でのででのででのででは、 でのででででのでででででででででででででででででででででででででででででで | urse/creator/ した実験のの携性のととたまった。 ままままでは、ままでは、まままでは、まままでは、まままでは、ままではでは、ままでは、ままでは、ままではではでは、ままではでは、ままでは、ままでは、ままではでは、ままではでは、ままでは、ままではでは、ままでは、ままではでは、ままでは、ままではでは、ままで | 留・実技の授禁 等時数の で 必修のの で 当・ を 数 | 業時数・実授業時数・支援 業 時数・支数 習 位数・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する・する<td>での授業時数 での単位数 を設置基準第41条第1項 を設置基準第41条第1項</td><td>ホームページURL 第1号) 第2号) 第3号)</td><td>0 30 0 0 0 0</td><td>単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単</td><td></td> | での授業時数 での単位数 を設置基準第41条第1項 を設置基準第41条第1項 | ホームページURL 第1号) 第2号) 第3号) | 0 30 0 0 0 0 | 単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単 | |
| 学校評価 当該ムののジーン 当下 URL 業習ののでとののは、 とののは、 とののは、 とののは、 とのは、 とのは、 とのは、 と | 各種国家 ■ X R III の A : 単位 (A : 単位 (B : 単位 | (A) | らいて 京任 京任 京任 京任 京任 京任 京子 京子 での での での での での での での での での での | urse/creator/ した実験のの携性のととたまった。 ままままでは、ままでは、まままでは、まままでは、まままでは、ままではでは、ままでは、ままでは、ままではではでは、ままではでは、ままでは、ままでは、ままではでは、ままではでは、ままでは、ままではでは、ままでは、ままではでは、ままでは、ままではでは、ままで | 留・実技の授禁 等時数の で 必修のの で 当・ を 数 | 業時数・実授業時数・財業・財益数・財益数・財益数・財益数・財益数・財益数・財益数・財益数・財益数・財益数・財益数・財益数・財益数・財益数・財益数・財益数・財益数・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財産・財産・財益・財益・財益・財産・財産・財産 | で で で が設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 | ボームページURL 第1号) 第2号) 第3号) | 0 30 0 0 0 0 | 単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単 | |
| 学校評価 当該より 当該より 当該より とのより とのBに 連実いり し状れ も関係して ででである。 では、 は状れ も関係して を関係して はない。 はない。 はない。 はない。 はない。 はない。 はない。 はない。 | 各種国家 ■ X R III の A : 単位 (A : 単位 (B : 単位 | (A) | らいて 京年 京年 京年 京年 京年 京年 でのでである。 でのでは、 でのででは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのででのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでのでは、 でのでのでは、 でのでは、 でのでのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのででのででのでは、 でのででは、 でのでは、 でのででのででのででは、 でのででででのでででででででででででででででででででででででででででででで | urse/creator/ した実験のの携性のととたまった。 ままままでは、ままでは、まままでは、まままでは、まままでは、ままではでは、ままでは、ままでは、ままではではでは、ままではでは、ままでは、ままでは、ままではでは、ままではでは、ままでは、ままではでは、ままでは、ままではでは、ままでは、ままではでは、ままで | 留・実技の授禁 等時数の で 必修のの で 当・ を 数 | 業時数・実授業時数・財業・財益数・財益数・財益数・財益数・財益数・財益数・財益数・財益数・財益数・財益数・財益数・財益数・財益数・財益数・財益数・財益数・財益数・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財産・財産・財益・財益・財益・財産・財産・財産 | での授業時数 での単位数 を設置基準第41条第1項 を設置基準第41条第1項 | ボームページURL 第1号) 第2号) 第3号) | 0 30 0 0 0 0 | 単単単単単単単 人 人人人人 人人人人人 人人人人人人人人人人人人人人人人人 | |
| 学校評価 当該分別 当該公司 URL 学ページ とのよう とのB とのB とのB とのB は実いい) ででである。 ででである。 では、ででである。 では、ででである。 では、ででである。 では、ででである。 では、ででは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、 | 各種国家 ■ X R III の A : 単位 (A : 単位 (B : 単位 | (A) | らいて 京年 京年 京年 京年 京年 京年 でのでである。 でのでは、 でのででは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのででのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでのでは、 でのでのでは、 でのでは、 でのでのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのででのででのでは、 でのででは、 でのでは、 でのででのででのででは、 でのででででのでででででででででででででででででででででででででででででで | urse/creator/ した実験のの携性のととたまった。 ままままでは、ままでは、まままでは、まままでは、まままでは、ままではでは、ままでは、ままでは、ままではではでは、ままではでは、ままでは、ままでは、ままではでは、ままではでは、ままでは、ままではでは、ままでは、ままではでは、ままでは、ままではでは、ままで | 留・実技の授禁 等時数の で 必修のの で 当・ を 数 | 業時数・実授業時数・財業・財益数・財益数・財益数・財益数・財益数・財益数・財益数・財益数・財益数・財益数・財益数・財益数・財益数・財益数・財益数・財益数・財益数・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財益・財産・財産・財益・財益・財益・財産・財産・財産 | で で で が設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 | ボームページURL 第1号) 第2号) 第3号) | 0 30 0 0 0 0 | 単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単 | |
| 学校評価 当該分別 当該公司 URL 学ページ とのよう とのB とのB とのB とのB は実いい) ででである。 ででである。 では、ででである。 では、ででである。 では、ででである。 では、ででである。 では、ででは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、 | 各種国家 ■XA R B II G | (Yama) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A | らい (a) (b) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c | urse/creator/ した実験である。 は | 留・ 実 大 で で で で で で で で で で で で で | 業時数・実授業時数・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力・財力<!--</td--><td>で で で が設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項</td><td>ボームページURL 第1号) 第2号) 第3号) 第3号) 第5号)</td><td>0 30 0 0 0 0</td><td>単単単単単単単 人 人人人人 人人人人人 人人人人人人人人人人人人人人人人人</td><td></td> | で で で が設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項 | ボームページURL 第1号) 第2号) 第3号) 第3号) 第5号) | 0 30 0 0 0 0 | 単単単単単単単 人 人人人人 人人人人人 人人人人人人人人人人人人人人人人人 | |

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針
- ①卒業生の主な就業先である国家公務員・地方自治体に関する有識者である大学や企業と連携して教育課程の編成を行うことにより、専門的かつ 実践的な知識・技術を修得した即戦力となる人材を育成する。
- ②法律行政分野における学修の中心となる法律、基礎教養力、計数能力、トレーニングは勿論のこと、行政の仕組み、コミュニケーション技術や職種別の専門知識などの教育内容に関して、教育課程編成委員会を通じて常に業界の最新の情報を反映させる。
- ③上記①、②により編成された授業科目、内容が実践習得されているかどうか、教育課程編成委員による実践的視点で評価を受け、課題を浮き彫りにする事で、教育の質の確保ならびに更なる教育の質向上に活用する。
- (2)教育課程編成委員会等の位置付け
- ※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記
- ①位置づけについて

教務部(課)の上位に教育課程編成委員会を設置し、企業等からの提言を参考にして本校の教育課程編成について協議策定するための機関として 位置づける。また、委員会での協議結果は当校該当学科の教育課程編成にも活用していく。

②意思決定の過程について

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年4月1日現在

| 名 前 | 所 属 | 任期 | 種別 |
|--------|---------------------|----------------------------|----|
| 金子 秀安 | 大原簿記法律観光専門学校金沢校 校長 | _ | _ |
| 松本 府美江 | 大原簿記法律観光専門学校金沢校 副校長 | | _ |
| 鷲頭 直人 | 大原簿記法律観光専門学校金沢校 課長 | _ | _ |
| 礪波 一樹 | 大原簿記法律観光専門学校金沢校 | - | _ |
| 寺嶌 圭一 | 大原簿記法律観光専門学校金沢校 | _ | _ |
| 稲置 拓己 | 大原簿記法律観光専門学校金沢校 | _ | _ |
| 青木 太一 | 防衛省 自衛隊 石川地方協力本部 | 令和6年4月1日~ 令和8年3月31日(2年) | 1 |
| 畠 健祐 | 畠総合マネジメントオフィス | 令和6年4月1日~ 令和8年3月31日(2年) | 3 |

- ※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。
- (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。)
 - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
 - ②学会や学術機関等の有識者
 - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(8月、12月)

(開催日時(実績))

第1回 令和6年8月2日 14:00~15:30

第2回 令和6年12月6日 14:00~15:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

- ①第1回目の委員会では、担任と学生との意思疎通が難しいケースに関してご助言を賜りました。人それぞれに合わせた対応は必要という前提で、全員に提供する部分を超えた「サービス」が指導だと考える。ある程度の部分までは指導は必要だが、それを越えたサービスはする必要がない、ただし、どうしても難しい学生は一定数いることを全体で共有すべきという結論に至った。
- ②第2回目の委員会では、「聴く・書く・話す」能力向上に向けて、それぞれの業界での取り組みについてご助言を賜った。環境として、コミュニケーションをとらざるを得ない環境にしてしまうのが良い、自衛隊では共同生活を通して単発のコミュニケーションではなく、継続的なコミュニケーション能力が育まれているので、共同生活が良いという結論に至った。
- ③新たに上がる提言に関しては、今後開催される委員会にて確認を行い、次年度以降も継続して教育課程の編成を実施してく予定である。
- 2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係
- (1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針
- 、「アストーストーロングでは、「ロース・サビン)を持ている。 ①文化・教養分野における実習・演習は、企業等との連携の下、学内で行なわれる学習科目が多いことを考慮して、実習・演習の組立を行なう。
- ②企業等との連携による実習・演習を通じて学生のより実践的な知識・思考・技術の修得と、社会人としての意識改革を実現する。
- ③企業等から実習・演習の授業内容、手法に関して具体的な助言を仰ぎ、学生の知識・技術の修得状況に対して実践で活かせるレベルか否かを企業等の実務の視点から評価を仰ぐ。
- (2)実習・演習等における企業等との連携内容
- ※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記
- 職業実践の趣旨をご説明し、ご理解頂いたうえで協定書を締結し、授業の前に打ち合わせを行い、授業法方法や目標到達点、学生の習熟状況の 評価など下記4点について連携を行っている。
- ①実習授業内容構築へのサポート
- ②当該実習授業における評価ポイントの確認
- ③授業方法に関する教員への指導
- ④学生の学修習熟状況の評価

「(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

| ` | | 11 - 201 | - 11 A : | |
|---|-------|------------------------------------|---|------------------|
| | 科 目 名 | 企業連携の方法 | 科目概要 | 連携企業等 |
| | | 2. 【校内】企業等から の講師が一部の授業 のみを担当 | 実務経験者の講義を受け、研究および発表を通 じて地方行政の取り組みを学ぶ | 防衛省 自衛隊 石川地方協力本部 |

- 3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係
- (1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

専門的かつ実践的な知識・技能を有し即戦力となる人材を育成するためには、教員一人ひとりが常に実務に関する最新の知識を持ち、指導スキル を身につけなければならない。

「大原学園 教職員研修規程」の目的に定めるとおり、教職員が専攻分野に関する知識・技能・企画力・判断力等を高めるための環境を整備し、所属長の指示または本人の意志により、公平に研修等を受講する機会を与えるものとする。校内、校外において学園が企画する研修は下記のとお

- ①教育課程編成委員会に参画する企業等から講師を派遣した実践的な知識・指導スキル研修
- ②大学教授等専門分野に特化した講師として招いた研修会の実施
- ③学内に設置される附帯教育講座を利用しての自己啓発
- (2)研修等の実績

内容

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 社会科学分野教員研修 連携企業等: 弁護士法人 藤木新生法律事務所

期間: 令和7年3月25日(火) 対象: 教員

公務員を目指す上で必要な知識として刑事手続きの概要を大局的に学び、実務知識を修得する研修

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 発達障害への理解と対応について 連携企業等: ウェルビー株式会社 金沢センター

期間: 令和6年7月31日(水) 対象: 教員

内容 発達障害の理解と具体的な事例への対応を学ぶ

研修名: 講義力向上研修 連携企業等: 大原学園

期間: 令和6年7月31日(水) 対象: 教員

内容 成果や課題を「可視化」し、現状の把握・分析を行う。/学生を引きつける講義のポイントについて知識を深める。

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 社会科学分野教員研修 連携企業等: 弁護士法人 藤木新生法律事務所

期間: 令和8年3月中旬 対象: 教員

内容 検討中

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 犯罪からあなたを守るために~特殊詐欺などの被害に遭わない 連携企業等:石川県戦略広報課

期間: 令和7年8月8日(金) 対象: 教員

内容特殊詐欺などの犯罪に遭わないためのポイントを分かりやすく紹介

研修名: 講義力向上研修 連携企業等: 大原学園 期間: 令和7年12月15日(月) 対象: 教員

内容 成果や課題を「可視化」し、現状の把握・分析を行う。/学生を引きつける講義のポイントについて知識を深める。

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

当学園の教育理念は、学生に対して資格取得教育、実務教育を施し、人格の陶冶を行いもって有為な産業人を育成することである。この教育理念に基づき実践的な教育が実現出来ているか、また、その教育を実現するために必要な環境が整っているかについて、学校関係者評価委員を設置して下記に示す評価項目から評価する。課題の残る評価結果については、課長職以上の管理職より改善計画を策定し、次年度以降の学校運営に反映させ改善を図る。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

| ガイドラインの評価項目 | 学校が設定する評価項目 |
|-------------|---|
| (1)教育理念•目標 | ①理念・目的・育成人物像は定められているか。 ②学校の特色はなにか。 ③学校の将来構想を抱いているか。 |
| (2)学校運営 | ①運営方針は定められているか。 ②事業計画は定められているか。 ③運営組織や意思決定機能は効率的なものになっているか。 ④人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか。 ⑤意思決定システムは確立されているか。 ⑥情報システム化等による業務の効率化が図られているか。 |

| (3)教育活動 | ①各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向づけられているか。 ②修業年限に対応した教育到達レベルは明確にされているか。 ③カリキュラムは体系的に編成されているか。 ④学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか。 ⑤キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法などが実施されているか。 ⑥授業評価の実施・評価体制はあるか。 ⑦育成目標に向け授業を行なう事ができる要件を整えた教員を確保しているか。 ⑧成績評価・単位認定の基準は明確になっているか。 ⑨資格取得の指導体制はあるか。 |
|---------------|--|
| (4)学修成果 | ①就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか。 ②資格取得率の向上が図られているか。 ③退学率の低減が図られているか。 ④卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。 |
| (5)学生支援 | ①就職に対する体制は整備されているか。 ②学生相談に関する体制は整備されているか。 ③学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか。 ④学生の健康管理を担う組織体制はあるか。 ⑤課外活動に対する支援体制は整備されているか。 ⑥学生寮等、学生の生活環境への支援は行なわれているか。 ⑦保護者と適切に連携しているか。 ⑧卒業生への支援体制はあるか。 |
| (6)教育環境 | ①施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか。 ②学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか。 ③防災に対する体制は整備されているか。 |
| (7)学生の受入れ募集 | ①学生募集活動は、適正に行なわれているか。 ②学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。 ③入学選考は適正かつ公平な基準に基づき行なわれているか。 ④学納金は妥当なものとなっているか。 |
| (8)財務 | ①中長期的に学校の財政基盤は安定しているといえるか。 ②予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。 ③財務について会計監査が適正に行なわれているか。 ④財務情報公開の体制整備はできているか。 |
| (9)法令等の遵守 | ①法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。 ②個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。 ③自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか。 ④自己点検・自己評価結果の公開はしているか。 |
| (10)社会貢献・地域貢献 | ①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行なっているか。 ②学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。 |
| (11)国際交流 | <u> -</u> |

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

今年度は、退学防止対策について多くの意見をいただいた。退学理由は、小中高から不登校の学生が多い。入学後から担任によるきめ細かい対応 および保護者への密な連絡を行っているが、効果は薄い。次年度も引き続き、学生に寄り添った対応を行うことを確認した。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和7年4月1日現在

| 名 前 | 所 属 | 任期 | 種別 |
|-------|---------------------------------------|----------------------------|-----|
| 小山 康晴 | # * ^ 4 .1. 4 + 10 4 + = = | 会和6年4日1日~ | 卒業生 |
| 三納 昭博 | | 令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年) | 卒業生 |

))

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。 (例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・ 広報誌等の刊行物・ その他(

https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/

公表時期: 令和7年10月6日

URL:

- 5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係
- (1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針
- ①実践的な職業教育における成果を広く周知することにより、入学希望者の適切な学習機会選択に資すること。そのために、学校関係者評価結果 も含めて教育活動の状況や課題など学校全体に関する情報を分かりやすく示すこと。
- ②また、上記①により企業等との連携による教育活動改善を活発にし、社会全体の信頼に繋げていくこと。
- ③情報の公表を通じて学校の教育の質の確保と向上を図ることを目的とする。

| (2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応 | | | | | | | | | |
|---|---|--|--|--|--|--|--|--|--|
| ガイドラインの項目 | 学校が設定する項目 | | | | | | | | |
| (1)学校の概要、目標及び計画 | ①学校の概要 ②目標・方針・特色 ③所在地、連絡先 ④学校の沿革 | | | | | | | | |
| (2)各学科等の教育 | ①カリキュラム、時間割、目指す資格 ②検定、資格取得・検定試験合格実績 ③卒業生の進路 | | | | | | | | |
| (3)教職員 | 各学科の担当教員紹介 | | | | | | | | |
| (4)キャリア教育・実践的職業教育 | 各学科の実習紹介 | | | | | | | | |
| (5)様々な教育活動・教育環境 | ①学校行事 ②クラブ活動 | | | | | | | | |
| (6)学生の生活支援 | 学習や学校生活に対する不安解消(先輩の声) | | | | | | | | |
| (7)学生納付金·修学支援 | ①学生納付金 ②奨学金、学費減免等の紹介 | | | | | | | | |
| (8)学校の財務 | 学園の財務状況公開 | | | | | | | | |
| (9)学校評価 | 学校関係者評価結果 | | | | | | | | |
| (10)国際連携の状況 | 留学生の募集 | | | | | | | | |
| (11)その他 | | | | | | | | | |

))

※(10)及び(11)については任意記載。
(3)情報提供方法
(ホームページ ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他(
URL: https://www.o-hara.ac.jp/al https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/

公表時期: 令和7年10月6日

授業科目等の概要

| | #REF! | | | | | | | | | | | 方法 場所 教員 | | | | | | |
|----|-------|------|----|---------------|---|---------|------|-----|---|----|----------|------------|----|---|-----|--|--|--|
| | 必 | 選択必修 | 自由 | 授業科目名 | 授業科目概要 | 配当年次・学期 | 授業時数 | 単位数 | 講 | 演習 | 実験・実習・実技 | | 校外 | 専 | 兼をの | | | |
| 1 | 0 | | | 一般教養 I | 一般教養として、社会で求められる漢字の知識を身につける | 1 通 | 30 | 1 | | 0 | | 0 | | 0 | | | | |
| 2 | | | 0 | キャリアデザイン I | 面接試験で求められるビジネスマナーや立ち居振舞いを学ぶ | 1 通 | 30 | 1 | | 0 | | 0 | | 0 | | | | |
| 3 | | | 0 | トレーニング実習 | 面接試験の心構えや事前準備に関する知識レクチャーと演習を行う。 | 1 通 | 30 | 1 | | | 0 | 0 | | | 0 | | | |
| 4 | | | 0 | 公共ボランティア実習I | ボランティアの基本的な在り方を学び、実習も踏まえて理解を深める | 1 通 | 30 | 1 | | | 0 | 0 | | 0 | | | | |
| 5 | | | 0 | 公務員就職試験対策講義 | 多様化する公務員試験に対応するための一般教養力の習得 | 1 通 | 30 | 1 | | 0 | | 0 | | 0 | | | | |
| 6 | | | 0 | キャリアデザインⅡ | 面接試験に向けての自己分析・自己PR作成を行う | 1 通 | 30 | 1 | | 0 | | 0 | | 0 | | | | |
| 7 | | | 0 | 一般教養Ⅱ | 漢字の学習を通じ、ことわざや故事成語など国語分野に関する知識まで身につける | 2 通 | 30 | 1 | | 0 | | 0 | | 0 | | | | |
| 8 | | | 0 | ビジネス教養Ⅱ | 電卓の学習を通じ、計算技能・集中力を養う | 2 通 | 30 | 1 | | 0 | | 0 | | 0 | | | | |
| 9 | | | 0 | コミュニケーション概論 | グループワークの形式、役割、手法について学ぶ | 2 通 | 30 | 1 | 0 | | | 0 | | 0 | | | | |
| 10 | | | 0 | ビジネスマナー | 社会で求められる一般的なビジネスマナーと電話応対を学ぶ | 2 通 | 60 | 2 | | | 0 | 0 | | 0 | | | | |
| 11 | | | 0 | パソコン実習 I | 社会で求められる一般的なレベルのWORDとEXCEL等の操作方法を学ぶ | 2 通 | 30 | 1 | | | 0 | 0 | | 0 | | | | |
| 12 | | | 0 | 公共ボランティア実習Ⅱ | ボランティアの基本的な在り方を学び、実習も踏まえて理解を深める | 2 通 | 30 | 1 | | | 0 | 0 | | 0 | | | | |
| 13 | | | 0 | 公務員就職試験対策演習 | 多様化する公務員試験に対応するための一般教養力の習得 | 2 通 | 30 | 1 | | 0 | | 0 | | 0 | | | | |
| 14 | 0 | | | 基礎数的 I 数的推理 | 数学的な基礎知識を基に、文章問題を解答する | 1 通 | 50 | 2 | 0 | | | 0 | | 0 | | | | |
| 15 | 0 | | | 基礎数的Ⅱ 判断推理 | 数学的な基礎知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する | 1 通 | 40 | 2 | 0 | | | 0 | | 0 | | | | |
| 16 | 0 | | | 基礎数的Ⅲ 空間把握 | 数学的な基礎知識や空間把握能力を基に、問題を解答する | 1 通 | 40 | 2 | 0 | | | 0 | | 0 | | | | |
| 17 | 0 | | | 基礎社会科学 I 政治 | 基本的人権や統治機構など憲法の基礎知識を学ぶ | 1 通 | 30 | 1 | 0 | | | 0 | | 0 | | | | |
| 18 | 0 | | | 基礎社会科学Ⅱ 経済・社会 | 金融政策・財政政策・外国為替など、経済の基礎知識、労働問題・環 境問題など、社会の基礎知識を学ぶ | 1 通 | 40 | 2 | 0 | | | 0 | | 0 | | | | |
| 19 | 0 | | | 基礎自然科学 I 生物 | 生体から自然環境まで、幅広い生物分野を学ぶ | 1 通 | 20 | 1 | 0 | | | 0 | | 0 | | | | |
| 20 | 0 | | | 基礎言語 I 文理·国語 | 文法などの国語分野の基礎的な知識と文章読解力の習得 | 1 通 | 20 | 1 | 0 | | | 0 | | 0 | | | | |
| 21 | 0 | | | 総合教養演習 I 基礎教養 | 模擬試験と解説を通じ、数的推理・政治・文章理解の知識を学ぶ | 1 通 | 60 | 2 | | 0 | | 0 | | 0 | | | | |
| 22 | 0 | | | 総合教養演習Ⅱ 実践教養 | 模擬試験と解説を通じ、数的推理・判断推理・空間把握・文章理解・ 政治・経済・社会の知識を学ぶ | 1 通 | 60 | 2 | | 0 | | 0 | | 0 | | | | |
| 23 | | | 0 | 基礎演習Ⅱ 社会科学 | 政治・経済の基礎知識をアウトプットすることで定着を図る | 1 通 | 30 | 1 | | 0 | | 0 | | 0 | | | | |
| 24 | | | 0 | 基礎演習V 知能系科目総合 | 問題演習を通じて数的推理・判断推理の総復習を行う | 1 通 | 60 | 2 | | 0 | | 0 | | 0 | | | | |
| 25 | | | 0 | 基礎人文科学 I 地理 | 気候、地形、世界各国の産業など地理の基礎知識を学ぶ | 1 通 | 30 | 1 | 0 | | | 0 | | 0 | | | | |
| 26 | | | 0 | 基礎人文科学Ⅱ 日本史 | 大和政権から昭和までの日本史を学ぶ | 1 通 | 30 | 1 | 0 | | | 0 | | 0 | | | | |
| 27 | | | 0 | 基礎人文科学Ⅲ 世界史 | 中国の歴代王朝と、ヨーロッパ世界を中心とした世界の歴史を学ぶ | 1 通 | 30 | 1 | 0 | | | 0 | | 0 | | | | |
| 28 | | | 0 | 基礎自然科学Ⅱ 地学 | 地球の内部構造から宇宙まで、幅広い地学分野を学ぶ | 1 通 | 20 | 1 | 0 | | | 0 | | 0 | | | | |
| 29 | | | 0 | 基礎自然科学Ⅲ 物理 | 電気や力学など物理分野の基礎的な知識の習得 | 1 通 | 20 | 1 | 0 | | | 0 | | 0 | | | | |
| 30 | | | 0 | 基礎自然科学Ⅳ 化学 | 原子や化学反応など化学分野の基礎的な知識の習得 | 1 通 | 20 | 1 | 0 | | | 0 | | 0 | | | | |
| 31 | | | 0 | 基礎演習 I 数的処理 | 数的処理の基礎知識をアウトプットすることで定着を図る | 1 通 | 40 | 2 | | 0 | | 0 | | 0 | | | | |

| | | | | | | | 1 | | | | |
|----|---|----------------|---|--------|----|---|---|---|------|---|--|
| 32 | 0 | 基礎演習VI 知識系科目総合 | 問題演習を通じて知識系科目全体の総復習を行う | 1 通 | 60 | 2 | | 0 | 0 | 0 | |
| 33 | 0 | 公務員 基礎情報工学 | 情報処理に活用することを前提とした数学知識の習得 | 1 通 | 30 | 1 | 0 | | 0 | 0 | |
| 34 | 0 | 公務員 IT基礎知識 | デジタル枠での採用試験への対応を前提としたIT知識の習得 | 1 通 | 30 | 1 | 0 | | 0 | 0 | |
| 35 | 0 | 基礎答案練習 | 本試験形式の1次試験から2次試験までを体験する | 1 通 | 20 | 1 | | 0 | 0 | 0 | |
| 36 | 0 | 憲法 | 基本的人権や統治機構など憲法の基礎知識を学ぶ | 1 通 | 60 | 2 | 0 | | 0 | 0 | |
| 37 | 0 | 民法 | 総則や物権、債権など民法の基礎知識を学ぶ | 1 通 | 70 | 3 | 0 | | 0 | 0 | |
| 38 | 0 | 行政法 | 行政法の基礎知識を学ぶ | 1 通 | 60 | 3 | 0 | | 0 | 0 | |
| 39 | 0 | 政治学 | 政治学の基礎知識を学ぶ | 1 通 | 20 | 1 | 0 | | 0 | 0 | |
| 40 | 0 | ミクロ経済学 | ミクロ経済学の基礎知識を学ぶ | 1 通 | 60 | 2 | 0 | | 0 | 0 | |
| 41 | 0 | マクロ経済学 | マクロ経済学の基礎知識を学ぶ | 1 通 | 60 | 2 | 0 | | 0 | 0 | |
| 42 | 0 | 社会学 | 社会学の基礎知識を学ぶ | 1 通 | 20 | 1 | 0 | | 0 | 0 | |
| 43 | 0 | 会計学 | 会計学の基礎知識を学ぶ | 1 通 | 20 | 1 | 0 | | 0 | 0 | |
| 44 | 0 | 社会事情 | 社会事情の基礎知識を学ぶ | 1 通 | 20 | 1 | 0 | | 0 | 0 | |
| 45 | 0 | 経済事情 | 経済事情の基礎知識を学ぶ | 1 通 | 20 | 1 | 0 | | 0 | 0 | |
| 46 | 0 | 国際関係 | 国際関係の基礎知識を学ぶ | 1 通 | 20 | 1 | 0 | | 0 | 0 | |
| 47 | 0 | 経営学 | 経営学の基礎知識を学ぶ | 1 通 | 20 | 1 | 0 | | 0 | 0 | |
| 48 | 0 | 就職活動準備 | 公務員及び民間就職の活動前に基礎的なビジネスマナーや所作を学ぶ | 1 通 | 90 | 3 | | 0 | 0 | 0 | |
| 49 | 0 | 公務員模擬受験 | 模擬公務員試験を実施し実際の公務員試験の流れを把握する | 1 通 | 20 | 1 | | 0 | 0 | 0 | |
| 50 | 0 | 専門科目総合演習I | 専門科目全般の問題演習による総合力の強化 | 1 通 | 60 | 2 | | 0 | 0 | 0 | |
| 51 | 0 | 基礎演習皿 人文科学 | 地理・歴史の基礎知識をアウトプットすることで定着を図る | 1 通 | 30 | 1 | | 0 | 0 | 0 | |
| 52 | 0 | 基礎演習Ⅳ 自然科学 | 生物・地学の基礎知識をアウトプットすることで知識の定着を図る | 1 通 | 20 | 1 | | 0 | 0 | 0 | |
| 53 | 0 | 行政学 | 行政学の基礎知識を学ぶ | 1 通 | 20 | 1 | 0 | | 0 | 0 | |
| 54 | 0 | 財政学 | 財政学の基礎知識を学ぶ | 1 通 | 20 | 1 | 0 | | 0 | 0 | |
| 55 | 0 | 職業実務I | 実務経験者の講義を受け、研究および発表を通じて地方行政の取り組 みを学ぶ | 1 通 | 15 | 1 | | 0 | 0 | 0 | |
| 56 | 0 | 職業実務Ⅱ | 警察署から講師をお招きし、その講義から得た知識を基に官庁企業研 究を行う | 1 通 | 15 | 1 | | 0 | 0 | 0 | |
| 57 | 0 | 職業実務皿 | 官公庁(国家省庁等)から講師をお招きし、その講義から得た知識を基 に官庁企業研究を行う。 | 1 通 | 15 | 1 | | 0 | 0 | 0 | |
| 58 | 0 | 職業実務Ⅳ | 実務経験の豊富な講師をお招きし、その講義から得た知識を基に消防 官職種研究を行う | 1 通 | 15 | 1 | | 0 | 0 | 0 | |
| 59 | 0 | 職業実務Ⅴ | 官公庁(国家公安職)から講師をお招きし、その講義から得た知識を基 に官庁企業研究を行う。 | 1 通 | 15 | 1 | | 0 | 0 | 0 | |
| 60 | 0 | 公官庁講話 | 現役公務員の様々な職種の方の講話を聴き職種への理解を深める | 2 通 | 20 | 1 | 0 | | 0 | 0 | |
| 61 | 0 | 基礎人文科学総合 | 西洋および東洋の倫理や芸術、文学を学ぶ | 2 通 | 20 | 1 | 0 | | 0 | 0 | |
| 62 | 0 | 応用演習 数的処理 Ⅱ | 問題演習を通じ、数的処理の応用知識を学ぶ | 2 通 | 20 | 1 | 0 | | 0 | 0 | |
| 63 | 0 | 公務員時事対策 | 自然科学から国際問題まで幅広いジャンルの社会時事を学ぶ | 2 通 | 30 | 1 | 0 | | 0 | 0 | |
| 64 | 0 | 基礎自然科学総合 | 理数系科目の基礎を幅広く総合的に学ぶ | 2 通 | 20 | 1 | 0 | | 0 | 0 | |
| 65 | 0 | 基礎数学 I | 基本的な数学計算の能力を身に着け、文章問題を解答する | 2 通 | 20 | 1 | 0 | | 0 | 0 | |
| 66 | 0 | 基礎言語Ⅱ 英語 | 文法や熟語など英語分野の基礎的な知識の習得 | 2 通 | 30 | 1 | 0 | | 0 | 0 | |
| 67 | 0 | 応用演習 数的処理 I | 問題演習を通じ、数的処理の応用知識を学ぶ | 2 通 | 20 | 1 | | 0 | 0 | 0 | |

| 68 | 0 | 応用演習 知識系科目総合 I | 問題演習を通じ、知識系科目の応用知識を学ぶ | 2 通 | 20 | 1 | | 0 | | | 0 | \top |
|-----|---|-------------------------|--|-------------|-----|----------|---|---|---|---|---|---------|
| 69 | + | | 問題演習を通じ、知識系科目の応用知識を学ぶ問題演習を通じ、知識系科目の応用知識を学ぶ | 2 | 20 | 1 | | 0 | | | 0 | + |
| 70 | 0 | | 数的分野全般について、更なる問題演習による試験直前の応用力強化 | 通 2 通 | 20 | 1 | | 0 | | | 0 | + |
| | + | | 数的分野主般について、更なる问題演首による試験直前の心用力強化 知識系科目全般について、更なる問題演習による試験直前の応用力強 | | | 1 | | | | + | | + |
| 71 | 0 | 対策 | 化 | 通 | 20 | <u> </u> | | 0 | | | 0 | + |
| 72 | 0 | 総合答案練習 I | 模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ | 2通 | 150 | 5 | | 0 | | | 0 | + |
| 73 | 0 | 総合答案練習Ⅱ ■ | 模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ | 通 | 40 | 2 | | 0 | (| | 0 | \bot |
| 74 | 0 | 直前答案練習I | 模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ | 2 通 | 180 | 6 | | 0 | (| | 0 | \bot |
| 75 | 0 | 直前答案練習Ⅱ | 模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ | 2 通 | 120 | 4 | | 0 | C | | 0 | \perp |
| 76 | 0 | 直前答案練習Ⅲ | 模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ | 2 通 | 30 | 1 | | 0 | C | | 0 | |
| 77 | 0 | 上級答案練習 I 専門科目 | 模擬試験と解答解説の学習を通じ、専門科目の知識を学ぶ | 2 通 | 60 | 2 | | 0 | C | | 0 | |
| 78 | 0 | 上級答案練習Ⅱ 専門科目 | 模擬試験と解答解説の学習を通じ、専門科目の知識を学ぶ | 2 通 | 60 | 2 | | 0 | C | | 0 | |
| 79 | 0 | 上級答案練習Ⅲ 教養科目 | 模擬試験と解答解説の学習を通じ、教養科目の知識を学ぶ | 2 通 | 30 | 1 | | 0 | (| | 0 | |
| 80 | 0 | 上級答案練習IV 教養科目 | 模擬試験と解答解説の学習を通じ、教養科目の知識を学ぶ | 2 通 | 30 | 1 | | 0 | C | | 0 | |
| 81 | 0 | 上級答案練習V 公安職対策 | 模擬試験と解答解説の学習を通じ、教養科目の知識を学ぶ | 2 通 | 30 | 1 | | 0 | (| | 0 | |
| 82 | 0 | 上級答案練習 総合試験対策 | 模擬試験と解答解説の学習を通じ、教養科目および専門科目の知識を 学ぶ | 2 通 | 180 | 6 | | 0 | (| | 0 | |
| 83 | 0 | 専門科目総合演習Ⅱ | 専門科目全般の問題演習による総合力の強化 | 2 通 | 120 | 4 | | 0 | C | | 0 | + |
| 84 | 0 | 公務員時事研究 | 就職先に関連する社会的ニュースを考察する | 2 通 | 60 | 2 | | 0 | | | 0 | |
| 85 | 0 | │ 公務員キャリアデザイン 基 礎 | 効果測定を通して面接の基礎を修得し、4試験種に向けた面接指導を行 う | | 90 | 3 | | 0 | (| | 0 | + |
| 86 | 0 | 公務員キャリアデザイン 公 務員春試験 | 公務員春試験の二次試験を踏まえた実践的な面接の練習 | 2 通 | 30 | 1 | | 0 | | | 0 | |
| 87 | 0 | 公務員適性検査演習 I | 公務員試験で重視される事務適性試験の得点力を強化する | 2 通 | 60 | 2 | | 0 | C | | 0 | |
| 88 | 0 | 公務員適性検査演習Ⅱ | 公務員試験で重視される事務適性試験の得点力を強化する | 2通 | 30 | 1 | | 0 | (| | 0 | |
| 89 | 0 | 公務員教養論作文対策 | 公務員初級試験を見据えての文章作成スキルの習得 | 2 通 | 30 | 1 | | 0 | (| | 0 | |
| 90 | 0 | 公務員専門論作文対策 | 専門論文・論作文対策について学ぶ | 2 通 | 30 | 1 | | 0 | C | | 0 | |
| 91 | 0 | 公務員倫理 | 公務人材開発協会より講師をお招きし、公務員に関する法令や服務規 程を学ぶ | 2 通 | 15 | 1 | | 0 | (| | 0 | |
| 92 | 0 | 法律研究 | 法律に関する講義を受け、研究および発表を通じて法律の考え方を学 ぶ | 2 通 | 30 | 1 | | 0 | C | | 0 | + |
| 93 | 0 | 行政研究 | 災害対策に関する講義を受け、研究・発表を通じて防災への理解を深める | 2 通 | 30 | 1 | | 0 | | | 0 | + |
| 94 | 0 | Excel基礎 | Excelの基礎操作並びに関数の効果的な使用方法を習得する | 2 通 | 60 | 2 | | 0 | (| | 0 | |
| 95 | 0 | Word基礎 | PCの基礎操作並びにWordの基礎操作を理解する | 2 通 | 30 | 1 | | 0 | C | | 0 | + |
| 96 | 0 | FP基礎 | 日常生活に関わる様々なお金の知識を身につける | 2 通 | 120 | 4 | | 0 | (| | 0 | + |
| 97 | 0 | FP応用 | 日常生活に関わる様々なお金の知識を身につける | 2 通 | 60 | 2 | | 0 | | | 0 | \top |
| 98 | 0 | FP総合 | | 2 通 | 90 | 3 | | 0 | | | 0 | + |
| 99 | 0 | パソコン実習Ⅱ | Excelの資料作成、作業スピードを向上するテクニックを習得する | 2 通 | 30 | 1 | | 0 | | | 0 | + |
| 100 | 0 | パソコン実習皿 | 応用的な機能を活用した文書作成や複雑なデータ集計を行うスキル習 得のための実習 | 2 通 | 30 | 1 | | 0 | | | 0 | \top |
| 101 | 0 | 英会話入門 | 日常生活での簡単な英会話を事例をもとに学習する | 2 通 | 30 | 1 | | 0 | | | 0 | \top |
| 102 | 0 | 経理実務 | 経理実務で必要となる業務内容を体系的に学び、知識を習得するため の講義 | . — | 60 | 2 | 0 | Δ | | | 0 | \top |
| 103 | 0 | 給与計算実務 | 所得税・住民税の基礎知識を体系的に理解し、特に年末調整事務に必要な知識を習得する講義 | 2 通 | 90 | 3 | 0 | Δ | | | 0 | \top |

| | | 合計 | 114 | 科 | ·目 | | | | 5000 | 単位 | (単 | 位時間 | <u> 引)</u> |
|-----|---|----------------|--|--------|----|---|---|---|------|----|----|-----|------------|
| 114 | 0 | 秘書総合 | 秘書的業務についての知識と技能を身に付けるための応用的な演習を 行う | 2 通 | 60 | 2 | | 0 | | 0 | C | | |
| 113 | 0 | 秘書実務 | 秘書的業務についての基礎的な知識と技能を学ぶ | 2 通 | 60 | 2 | | 0 | | 0 | C | | |
| 112 | 0 | 卒業研究・発表 | 実店舗を題材にして、課題に対する改善案を提案し発表する | 2 通 | 60 | 2 | | 0 | | 0 | C | | |
| 111 | 0 | マーケティング概論 | マーケティングの必要性と目的を学習する | 2 通 | 60 | 2 | 0 | Δ | | 0 | C | | |
| 110 | 0 | 卒業前特別講座 | 社会人として必要な考え方やスキルを学ぶ | 2 通 | 30 | 1 | 0 | | | 0 | C | | |
| 109 | 0 | 販売知識応用 | 小売業について体系的に学び、実務的なビジネスの知識を理解する | 2 通 | 90 | 3 | 0 | | | 0 | C | | |
| 108 | 0 | 販売知識基礎 | 仕入れ在庫管理・接客マナー・企画立案、マネジメントの知識を理解 する | 2 通 | 90 | 3 | 0 | | | 0 | C | | |
| 107 | 0 | ITパスポート応用 | 基礎レベルではやや難しい情報技術の考え方をを問題演習を通じて学 ぶ | 2 通 | 60 | 2 | 0 | Δ | | 0 | C | | |
| 106 | 0 | ITパスポート・リテラシ演習 | 情報技術の考え方・仕組み・専門用語を問題演習を通じて学ぶ | 2 通 | 30 | 1 | | 0 | | 0 | C | | |
| 105 | 0 | ITパスポート基礎 | 情報技術の基礎となる考え方・仕組み・専門用語を理解する | 2 通 | 90 | 3 | 0 | | | 0 | C | | |
| 104 | 0 | 財務会計 | 財務諸表の作成に関する知識と技術を身につけ、財務会計の意義や制度を理解するための講義 | 2 通 | 90 | 3 | 0 | Δ | | 0 | C | | |

| 卒業要件及び履修方法 | 授業期間等 | 等 |
|--|-----------|----------|
| 卒業要件: 修業年限以上在学し、学科の定める授業時間以上履修、かつその該当する所定の授業科目及び単位数を修得し、最終学年の終わりに行われる卒業審査に合格した者。 | 1 学年の学期区分 | 2 期 |
| 履修方法: 必修科目は必ず履修し、選択必修科目は別に定める別表に従い系統別に履修する。 | 1 学期の授業期間 | 22 週 |

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。